



震災復興支援
活動情報

Vol.2

サポセン
かわら版

「サポセンかわら版」では、東日本大震災で被災された方に向けた、救援物資の提供、お悩みやお困りごとのご相談、心のケアなどの活動を行う市民活動団体・NPO、企業の社会貢献による支援活動などの情報をお届けします。掲載された情報は、4月24日～4月30日に受けた情報です。詳細については、各団体の連絡先に直接お問い合わせください。

発行: 仙台市市民活動サポートセンター 電話: 022-212-3010

5月10日(火)



東北福祉大学 ボランティア会

頼ってください。学生が力になります。

ボランティア

「復興!東日本」を合言葉に、全学一丸となって復興支援にあたる東北福祉大学。総合福祉・子ども科学・健康科学・総合マネジメントの4学部を擁する同大学では、福祉・子ども・看護・リハビリ・介護・医療関連など、被災地が抱える様々なニーズに応えたいという学生たちが、現在約600名ボランティアの登録をしています。

教職員が各避難所からニーズを汲み上げ、内容と安全性を検討し、現地に確認後、学生達を送り出し活動しています。4月下旬に新学期が始まりましたが、意欲ある学生達は授業がない日や休日を利用して、ボランティア活動を続けています。

子ども支援活動に参加した田倉直さん(子ども科学部4年)は、4月名取市の増田中学校と第一中学校で7日間子ども支援活動を行いました。「増田中には避難所の中央に「子ども広場」が作られていて、避難者の方々が温かく見守る中で、9人の子どもたちとお絵かきなどをし、外ではバトミントン、おんぶだっこしたり走りまわったりして遊びました。幼児と

一緒に遊んでいる間は、大人の方たちに休養していただくことができました。就活は来年もできますが、この大震災は何百年に一度。今大切な支援活動の方を選びたい。教師を目指しているので、将来教師になって、この貴重な体験を子どもたちに伝えていきたいです。」被災者の方に伝えたいことは、「意欲のある大勢のボランティアがサポートしたいと思っていますので、ぜひ福祉大を頼ってください。一人で抱え込まないで。」学生がみなさんの力になります。

●内容 / ◎医療・看護・リハビリ・介護関係 ◎話し相手 ◎吹奏楽訪問 ◎避難所運営補助 ◎炊き出し ◎グループホーム復旧支援

●連絡先

事務局: 学生生活支援センター ボランティア支援室
担当 鷗橋、渡辺
TEL: 022(717)3321 FAX: 022(717)3335
E-mail: tfuvolu@tfu-mail.tfu.ac.jp



東北大学地域復興プロジェクト“HARU”

被災地のニーズに合わせ
長期的支援活動

ボランティア

●内容 / 東北大学公認のもと、東北大学生が主体となって地域社会再生へ向けて、自発的な復興支援活動を行っています。◎衣類、支援物資の提供(気仙沼市教育委員会へ) ◎配膳・掃除・物品の移動(仙台市内老人介護施設) ◎避難所運営補助・支援物資仕分け・ボランティアセンター受付・個人宅掃除・交通整理・炊き出しなど(山元町) ◎給食支援・がれき処理手伝い(石巻地区)

●連絡先

代表者 鈴木 杏奈
TEL: 070(5024)3890(担当 半田 幸子)
E-mail: tohoku.gakusei.fukko@gmail.com
ウェブサイト: <https://sites.google.com/site/haruthuv/>



東北学院大学 災害ボランティアステーション

東日本大震災後の
地域社会復興のために設立

ボランティア

●内容 / 東北学院大学の学生ボランティアが仙台市の社会福祉協議会に協力し、地域の情報を集約・共有し、公的私的を問わず支援を必要としている場所に、可能な範囲で援助を提供しています。◎がれき撤去汚泥除去 ◎情報ボランティア ◎仮設住宅への引越作業 ◎子供への絵本読み聞かせ ◎海外からの被災地子供へのメッセージ和訳 ほか

●連絡先

代表者 学長室室長 佐々木 俊三
TEL: 022(264)6521(担当: 学長室事務課・其田(そのだ)雅美)
E-mail: tgvolu@staff.tohoku-gakuin.ac.jp
ウェブサイト: <http://step-tg.jp/volunteer/>
ブログ: <http://flat.kahoku.co.jp/sub/volunteer/index.htm>



NPO法人アイサポート仙台

視覚障害者とその家族の支援

従来の相談事業の一環として、今回の震災で被害を受けた視覚障害者とその家族からの生活相談に応じ、情報提供、ボランティアや各種福祉制度の活用支援、緊急的直接生活支援、救援用に提供された福祉用具の供給コーディネート等を行っています。

障害者地域活動推進センター「きりん」では、地震による公共交通機関の運休や、余震に対する不安からいつも以上に自宅で閉じこもりになりがちな目の不自由な方々を対象に「出かけてみなさんと集う」ことを目的としたお茶のみサロンを4月6日より開催。5月からは生活不活発病の予防も念頭において、できる活動プログラムから通

常に戻し、日常を取り戻すきっかけを提供しています。また、仙台ロービジョン勉強会では、今回の大震災における視覚障害者支援について、福祉・医療・教育などそれぞれの分野で支援にかかわっている人たちと情報交換しながら、連携した支援活動を行っています。

● 連絡先

代表者 山縣 浩
TEL:022(212)1131 FAX:022(212)1136
連絡可能な時間帯 平日 9:00~18:00(担当:阿部)
E-mail:sisien@sky.plala.or.jp
ウェブサイト:http://www15.plala.or.jp/isupport/



ReRoots(リルーツ)

被災地域を盛りあげる復興支援活動

●内容／震災復興・地域を盛りあげる目的で、川内コミュニティセンターで、地震で被災し避難した学生や地域住民が一緒になって作ったサークルです。沿岸被災地での片付け、ドロかきなど復旧・復興支援、川内地区での地域支援(独居老人や被災弱者へのサポート)、地域盛りあげイベントの企画などの活動を行います。

● 連絡先

代表者 広瀬 剛史
TEL:090(5402)9952 FAX:022(225)3369
E-mail:duuk39@yahoo.co.jp



東北圏地域づくりコンソーシアム推進協議会

被災地の地域再建の支援活動

●内容／地域づくり(コミュニティ再生・自立にかかわる)に対する活動を通して、被災地におけるコミュニティ再建に向けた人的支援の方策検討および具体的な実践への支援を行います。

● 連絡先

代表者名 山田 晴義
TEL:022(377)8360 FAX:022(377)8390
(担当 鈴木 孝男)
E-mail suzutaka@myu.ac.jp



NPO法人POSSE 仙台支部

被災地への継続的な物資輸送支援

●内容／被災者の持続的な生活の安定の観点から、仮設住宅を中心とした物資ニーズの掘りおこしと配送を、首都圏の労働組合や在仙のNPOとの連携により行います。当NPOの特徴である大学生のマンパワーを活用して活動を展開します。

● 連絡先

代表者 甲斐谷 徹彰
TEL:022(266)7630
E-mail:info@npoposse.jp
ウェブサイト:http://www.sendai-posse.com



NPO法人環境会議所東北

省エネ、環境に関する活動

●内容／経済循環が無い限り復旧・復興につながりません。被災の大小問わず元気な企業があることを全国に発信し、ビジネスマッチングにつながる情報の収集と発信を強化。環境に配慮した環境経営を推進し、みちのくEMSの普及拡大。被災した今だからこそ求められる省エネ、節電の重要性と県内事業者の省エネ取り組み等を発信します。

● 連絡先

代表者 猪股 宏
TEL:022(218)0761 FAX:022(375)7797
(連絡可能な時間帯 月~金 8:30~17:30)
E-mail:kk-tohoku@kk-tohoku.or.jp
ウェブサイト:http://www.kk-tohoku.or.jp



こどもとあゆむネットワーク

震災に遭った子どもたちに「絵本」「おもちゃ」「文房具」「あそび」を届けます

震災に遭った子どもたちが早く日常に戻れるようにとの願いのもと、これまで仙台市内、亘理町、山元町、塩釜市、東松島市、石巻市、気仙沼市など県内の被災地を中心に絵本やおもちゃなどの支援物資を届けています。「こどもの笑顔は被災地にともる灯り。こどもたちと寄り添い、顔が見える関係で共にあゆんでいきたい」と、メンバーが直接現地に赴き、現地の人と連携し協力体制をつくりながら子どもたちに絵本を手渡しています。また、被災した保育所・幼稚園・児童館・図書館の復旧・復興に向けての支援にも力を尽くしながら、これから3年間を目安にゆっくりと息の長い活動を続けていきます。

●内容／第1段階：日常を取り戻すための「復旧」プロセス、被災地の子どもたちのニーズをご用聞きで把握し、必要なものを募集し、届ける活動。第2段階：再生のための「復興」プロセス、心のケアと笑顔のためのイベント企画。第3段階：被災地の商店から購入し届ける地元商店ファンド。保育所・幼稚園・児童館・図書館再生ファンドの実施。

●連絡先

代表者 横田 重俊
TEL:080(6010)8959
(連絡可能な時間帯 平日10:00~14:00)
E-mail:ayumunet@gmail.com
ウェブサイト:http://www.ayumunet.jp/



NPO法人東北の造形作家を支援する会(SOAT/ソアト)

被災地での画材支援、 アートワークショップ支援

●内容／実施中の支援プロジェクト、「SAVE THE ART ACT～虹色ぱれっと～」にて集まった善意の画材を、今回の大震災で画材を損失された作家の方々、また被災地でのアートイベント等に提供いたします。また、ご要望に応じ指導者およびスタッフ派遣によるアートワークショップ支援も行います。

●連絡先

代表者 藤原 久美子
FAX:022(398)8845
E-mail:head@soat.jp
※ご連絡はFAXまたはEメールにてお願いいたします。
ウェブサイト:http://www.soat.jp/



アートリバイバルコネクション東北(ARC>T《あるくと》)

まちやひとが元気になるよう 応援します

●内容／文化芸術活動やそのスキルを生かした活動の提供を現地の要望に応じて行います。

◎やってみよう!からだを動かす楽しさを感じよう。ゲームで楽しむコミュニケーション等 ◎どうぞごゆっくり…子供のための読み聞かせ。昔なつかし紙芝居。大人のための朗読劇。いろんなおどり等 ◎そのほか…大工仕事、話し相手、遊び相手等

●連絡先

代表者 樋渡 宏嗣(ひわたり ひろつぐ)
TEL:080(2817)5154 FAX:022(365)9309(担当:千田)
E-mail:info@arct.jp
ウェブサイト:http://arct.jp/



ヨーガ療法士会・宮城(日本ヨーガ療法学会)

ヨーガ療法と被災者への メンタルケア

●内容／主に県内の被災地をまわり、ヨーガ療法の指導を行います。運動というよりはメンタルな部分でのケアを目的とし、時によっては傾聴ボランティアを兼ねる場合もあります。統合医療学会との協働活動として医療関係者と一緒に被災地をまわります。

●連絡先

代表者 佐藤 美弥子
TEL:022(224)6479(担当:佐藤)
ウェブサイト:http://www.yogatherapy.jp/



NPO法人日本ヨガ連盟宮城仙台支部

ヨガによる心と体のケア

●内容／赤ちゃんから高齢者まで幅広い方へヨガを伝えてきたこれまでの活動を生かし、避難所の方々や被災した方々の心と体のケアのためにヨガをお伝えします。単に体を動かし、体の不調を改善するだけでなく、呼吸法などを通し、心のケアをすることで心身ともに健やかになれるようお手伝いします。

●連絡先

代表者 阿部 麻利子
E-mail:bundar@live.jp
ウェブサイト:http://www.npo-yoga.com/



NPO法人黒川こころの応援団

～想いのかたちプロジェクト～街喫茶さをりsenbi展

みんなが笑顔になれるよう、長期的な復興を支援するプロジェクトです。「みんなつながっているよ」の想いを私たちなりの形にかえて、震災を風化させることのないよう長く広く活動を続けていきます。

会場では、全国のさをり織り仲間が織った「ミサンガ」を350円で販売いたします。売上は、さをり織り全国組織で被災地への支援に使われます。また、その他のさをり作品をお買い上げいただけましたら、その売上の半分をさをり織り全国組織の「想いのかたちプロジェクト」を通して、また半分を被災障害者支援基金「ゆめ風基金」に振込む形で全て被災者支援のために活用させていただきます。

●内容／ 日時:5月31日(火)～6月12日(日)
11:00～18:30
(最終日16:00まで、6日休廊)

開催場所: Gallery Senbi
仙台市青葉区春日町(仙台美術研究所2F)
※入場無料・販売も致します

●連絡先

TEL:022(347)0028 070(5011)0028(小野田)
E-mail:info@m-kissa.com
ウェブサイト:http://m-kissa.com



公益社団法人
日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会(NACS)東北支部

震災に関連する 消費者への情報提供

●内容／NACS東北支部は、資格を有する消費者問題の専門家団体です。東日本大震災に関する消費者団体の取り組みを情報提供する他、「震災悪質商法110番」の取り組みを広く一般の方々へお知らせしています。

◎「震災に関連する悪質商法110番」(消費者庁・国民生活センター)
フリーダイヤル:0120(214)888
受付時間:毎日(土・日曜日、祝日含む)10:00～16:00

●連絡先

代表者 常任理事 東北支部長 榎引 進一
E-mail:touhoku-soumu@nacs.or.jp
ウェブサイト:http://www.nacs.or.jp/touhoku/



社団法人 日本損害保険協会

東日本大震災によって 被災された皆様へ

●内容／損害保険各社では、地震保険をご契約いただいている建物または家財について損害を調査し、迅速な保険金のお支払いに努めております。被害にあわれた方は、ご契約の損害保険会社または損害保険代理店にご連絡ください。

●地震保険契約会社照会センター
(損害保険会社が不明な場合、保険証券を紛失した場合の照会先)
フリーダイヤル:0120(501)331 平日 9:00～17:00
ウェブサイト:http://www.sonpo.or.jp
●社団法人日本損害保険協会 そんがいはけん相談室
フリーダイヤル:0120(107)808 携帯・PHSからは:03(3255)1306
受付時間:月～金曜日(祝日は除きます)9:00～18:00
土・日曜日、祝日(当分の間)9:00～17:00

仙台市市民活動サポートセンターは、平成23年3月28日(月)～9月30日(金)まで市民活動団体、NPO・NGO等の復興支援活動のサポート拠点として運営を行います。

発行 行: 仙台市市民活動サポートセンター
〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3
TEL:022-212-3010 FAX:022-268-4042
ホームページ <http://www.sapo-sen.jp>

発行日: 2011年5月10日
編集: 特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター
編集人: 小松州子 菅野祥子 太田貴 葛西淳子 真壁さおり
取材: 市民ライターグループ「おかきプラス」
デザイン: 氏家朗

